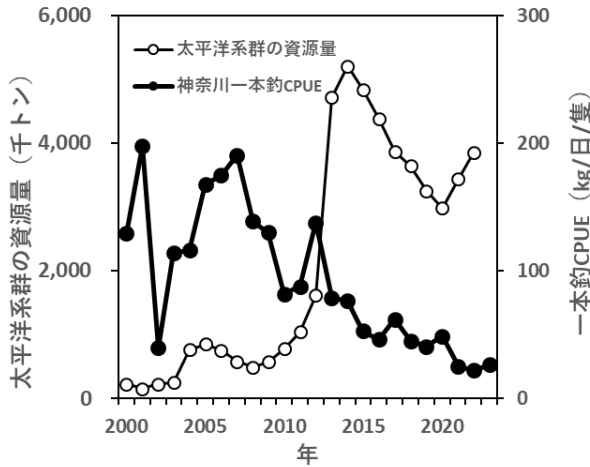


資源の動向 「低位・減少」



一本釣CPUE (kg/日/隻)と太平洋系群の資源量の推移

本県沿岸におけるマサバの一本釣漁船の1日1隻あたり漁獲量(CPUE)は、2008年以降減少傾向で、直近の2023年も依然として低調であり、資源の水準・動向は「低位・減少」とした。一方で、マサバ太平洋系群の令和4(2022)年度の資源水準の評価は大きく下方修正されたものの依然として「高位」と判断されている。

2023年は黒潮大蛇行等の影響により、マサバ資源の本県沿岸への供給源である伊豆諸島海域への南下が妨げられ、沿岸の漁場への来遊が少なかったと考えられる。

対象漁業

- 定置網漁業
- 一本釣漁業



生物学的特性

- 分布: 日本列島周辺
- 移動: 春に伊豆諸島海域で産卵し、夏～秋には三陸～道東沖へ移動する
神奈川県沿岸(相模湾、東京湾)で漁獲されるマサバは親魚が主体
- 成長: 尾叉長は2歳で30cm前後、5歳で35cm前後(寿命は7～8歳)
- 産卵期等: 1～6月(盛期は3～6月)

